平成２５年度　国立江田島青少年交流の家教育事業

野外活動指導者養成講座実施報告書

【趣　　旨】　青少年団体指導者及び野外活動に関心を持つ青年などが，野外活動に必要な知識・技術について研修し，指導者としての実践力を身に付ける。（指導者養成編）
　小学生を対象としたプログラムを企画・運営することを通して，子どもとの関わり方を学び，指導者としての資質を向上する。（活動実践編）

【主　　催】　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立江田島青少年交流の家

【期　　日】　①指導者養成編
第１回　平成２５年　５月１８日（土）～　５月１９日（日）　（１泊２日）
第２回　平成２５年　６月１５日（土）～　６月１６日（日）　（１泊２日）
第３回　平成２５年　６月２９日（土）～　６月３０日（日）　（１泊２日）
②活動実践編
第１回　平成２５年１０月１９日（土）～１０月２０日（日）　（１泊２日）
第２回　平成２５年１１月２２日（金）～１１月２４日（日）　（２泊３日）
第３回　平成２５年１１月３０日（土）

【会　　場】　国立江田島青少年交流の家

【対　　象】　青少年団体指導者，野外活動に関心がある青年等

【参加者数】　①指導者養成編１９人　②活動実践編１６人

【講　　師】

社団法人日本キャンプ協会	ｷｬﾝﾌﾟﾃﾞｨﾚｸﾀｰ１級	鍋島一仁
広島大学大学院教育学研究科	教授	林孝
広島女学院大学国際教養学科	教授	木本浩一
広島女学院大学宗教部事務課	課長	小田長
大柿自然環境体験学習交流館	館長	西原直久
日本赤十字社広島県支部	救急法指導員	伊藤恵美子
国立江田島青少年交流の家	企画指導専門職	

【企画・運営のポイント】
（１）広島大学，広島女学院大学が授業の一環として本事業へ参加しているため，この２大学と連携して事業の企画・広報を行う一方で，一般参加者向けにも対応できるものになるよう計画する。
（２）法人ボランティアの資格が容易に取得できるように，講師等との調整を図り，指導者養成編の第１回目に法人ボランティアのカリキュラムをまとめる。
（３）単なる知識・技能の習得に終わるのではなく，まずは自分が小学生の立場に立って，体験活動等をする。その後身に付けた知識・技術を生かして，実際に小学生を対象としたキャンプを企画・運営することで，指導者としての資質を向上させることをねらう。また，参加者同士の仲間意識の向上をめざし，さらなる資質向上のきっかけづくりとなるようにする。
（４）指導者養成編の最後に，異なる大学の学生で小学生キャンプのグループを編成する。自主的な活動が生まれるよう，活動実践編までの約３か月の間に，各グループの途中経過を報告し合う全体会を２回設定する。
（５）小学生キャンプへ向け，まずは全体の目的をはっきりと決める。そこからずれることがないようにプログラムも決め，各グループの話し合いもそれに向けて目標を設定していくようにする。

【活動の実際】

①指導者養成編

5月18日（土）	受付	開講式	ボランティア活動の意義［木本］	昼食	救急救命法［伊藤］		タベのつどい　夕食	青少年教育施設の現状と運営［職員］	入浴･就寝
5月19日（日）	朝のつどい・朝食・清掃	野外炊事演習［職員］			青少年教育施設におけるボランティア活動の理解［小田］	青少年教育の理解［林］	まとめ		

6月15日（土）	受付	オリエンテーション	キャンプの特性［鍋島］	昼食	キャンプの歴史・指導者・安全［鍋島］	キャンプ用具の使用法とテント技術［鍋島］		タベのつどい　夕食	対象や目的に応じた指導内容と指導技術［鍋島］	入浴･就寝
6月16日（日）	朝のつどい・朝食・清掃	キャンプの計画･運営･評価［鍋島］		昼食	カッター研修［職員］		まとめ			

6月29日（土）	受付	オリエンテーション	野外活動プログラムの企画･立案①［職員］	昼食	野外活動プログラムの企画･立案②［職員］	海辺の生物観察①［西原］	夕食	海辺の生物観察②［西原］	入浴･就寝
6月30日（日）	朝のつどい・朝食・清掃	野外活動プログラムの企画･立案③［職員］		昼食	野外活動プログラムの企画･立案④［職員］	まとめ	開講式		

②活動実践編

10月19日（土）	受付	開講式	グループワーク①	昼食	グループワーク②		タベのつどい　夕食	グループワーク③	入浴･就寝
10月20日（日）	朝のつどい・朝食・清掃	グループワーク④		昼食	グループワーク⑤	まとめ	解散		

＊　グループワークは，『小学生キャンプ』のプログラムの企画・立案・準備を行った。

※『小学生キャンプ』は，江田島市内の小学校４～６年生を対象に募集を行った。

11月22日（金）	受付					準備	タベのつどい　夕食	準備	入浴･就寝
11月23日（土）	朝のつどい・朝食・清掃	ミーティング　準備		昼食	『小学生キャンプ』				
					受付	開会式	食材をゲットだぜ☆～ウォークラリー～	タベのつどい　夕食	みんなで楽しく歌って踊って一日をふり返ろう～キャンプファイヤー～	入浴･就寝
11月24日（日）	『小学生キャンプ』								
	朝のつどい・朝食・清掃	レシピを選び完成させろ！～野外炊事～		昼食	閉会式	後片付け	まとめ	解散	

網掛け部分で，『江田島キャンプ』を実施した。

11月30日（土）	15:00	16:00		17:00
	受付	グループワーク	まとめ	閉講式

「救命救急法」

「野外炊事」

「カッター研修」

「キャンプ用具の使用法
とテント技術」

「対象や目的に応じた
指導内容と指導技術」

「野外活動プログラムの企画・立案」

小学生キャンプ
「ウォークラリー」

小学生キャンプ
「キャンプファイアー」

小学生キャンプ
「野外炊事」

【成果】

（１）小学生キャンプの準備は２つの大学の参加者が一緒になって役割分担し，自主的に集まって話し合いをしたり，メールを使って担当者に相談をしたりするなど，小学生キャンプを成功に導くための努力を惜しまずに行っていた。

（２）指導者養成編で講師から学んだことを，忠実に活動実践編の小学生キャンプの企画・運営に生かしていた。また，参加者のアンケートに以下のような記述があった。「目的に立ち戻って考えるという考え方が身についたと思う。」これらは，学んだことを生かし，小学生のキャンプを企画・運営する中で指導者としての実践力を身につけ，資質を向上するという本事業のねらいと合致すると共に，大切にした視点を参加者が受け止めてくれたと考えられる。

（３）指導者養成終了時点において，７名の参加者がすぐに法人ボランティアに登録し，その後教育事業のボランティアとして活動した。

【今後の課題】

（１） 指導者養成編と活動実践編の間で，異なる大学の者同士でも，小学生キャンプのプログラムの準備のために２回の全体会とそれぞれ自主的に集まり，準備をしていた。自主的な活動としては素晴らしいが，指導者養成編の３回目と活動実践編の１回目を工夫・改善し，小学生キャンプの準備ができる時間を確保する必要も考えられる。

（２） 法人ボランティアに登録し，実際に教育事業のボランティアとして活動する参加者がいたので，活動の機会を増やしていくようにする。